

笑顔いっぱい 明るく楽しい学校



佐市立直川小学校 学校だより
第39号 2023. 2. 24

5、6年「四季の郷」の遠隔見学

2/22

みずほ厚生センター「四季の郷」より、福祉や介護士についての遠隔学習をしませんかというお声かけをいただき、キャリア教育の一環としてオンラインで学習しました。最初に、介護の仕事のイメージを尋ねられました。「大変そう。」「お年寄りのお世話をする。」などの回答を子どもたちがしました。それからクイズ。その後、介護士の仕事をしている動画を見て、リアルタイムで職員の方がいろんな介護器具や装具について説明をして、使い方を教えてくださいました。機械化も進んでいるので、介護の仕事のイメージも変わ

ったようでした

走行リフト

仕事のやりがい
は「ありがとう。」の一言。



3年社会「昔の暮らし」GT来校 2/21

3年生は、昔の暮らしを知るために地域の高橋〇〇さんをお招きしてお話を伺いました。家から学校まで6kmを歩いて登下校していたこと、農家の手伝いをしていたこと、自然の中でたくさん遊んだこと、食べ物などを話してくださいました。子どもたちの感想には、「ワイルドだなあと感じました。」などがありました。



ひとしずくちゃんがやってきた2/20

中学生が、旧幼稚園舎を改装して「ふれあいハウス」を作りました。その除幕式で、佐伯市社会福祉協議会のゆるキャラ「ひとしずくちゃん」が来ました。2014年、「一人一人の愛のひとしずくが障がいの壁を打ち払うことを信じて。」応募作品の中から選ばれ、誕生したキャラクターです。宝物のハートのペンダントを胸に、障がいの壁を乗り越えて多くの人々が繋がっていけるよう願っているそうです。珍しい来客に子どもたちもウキウキして一緒に写真を撮りました。



児童、保護者アンケート結果 2/22

【児童】 ※1人あたり2.3%に値します。

- 国語・算数の授業がわかる。97.7%
- iPadを使ってすすんで調べたり発表したりしている。97.7%
- 自分には良いところがある。95.3%
- 学校に行くのが楽しい。95.3%
- ▲毎月6冊以上本を読んでいる。90.7%
- ▲休みの日にどのくらいゲームをしていますか？ 3h以上6人、2~3h6人

【保護者】

- 子どもは、学校での勉強がわかっている。91.7%
- 子どもは楽しく学校に行っている。100%
- △家庭学習チェック表を活用して家庭学習の状況を把握している。86.1%
- △家読などを活用して子どもとコミュニケーションを取っている。83.3%
- 生活ふり返りシートを活用して、9to7ルールを守らせている。97.2%
- ▲子どもは毎月6冊以上本を読んでいる。55.6%

両方の結果を見ていると、今後も読書の習慣の指導が必要なこと、家読の仕方についても再検討する必要があることがわかりました。また、ゲームの時間が長い子どももいるので、生活時間の見直し継続が必要なことがわかりました。

自由記述では、要望等もありました。善処していきたいと思えます。「社会見学やICTに力を入れていただき感謝しています。」という嬉しい言葉もありました。ご協力ありがとうございました。

2年体育授業 2/22

犬走り、ケンパー跳び、うさぎ跳び、帰るの足打ちなどのいろんな跳び方をしていました。そこで、「ぼく、〇〇くんより下手かも?」と誰かが言うと、「下手じゃないよ。」と言ったり「◇◇ちゃん上手。」と言ったり、友達に対する声かけが優しいなと思えました。温かい人間関係の中で子どもたちはのびのび育つのだなあと感じた一コマでした。

PTA評議員会 2/17

過半数の参加で、第2回PTA総会の議案について話し合いました。次年度の役員についての提案もありました。期末PTAは3月2日(木) 13:50~16:00です。今年度最後の保護者会です。ご出席、よろしくお願ひいたします。

